



公明党 市川陽子 議員

空き家対策について

問 空き家実態調査の結果はどうか。

答 都市整備課長 実態調査件数は873件で、そのうち空き家でないものが156件、確認不可能なものが36件、空き家を681件確認しました。空き屋のうち、利活用が可能なものが410件、修繕が必要な要適正管理のものが188件、周辺の住環境に悪影響を及ぼすものが83件でした。

問 地域再生まちづくりの展望に空き家バンクの創設等を掲げているが市長の見解はどうか。

答 市長 空き家の未然防止対応として、各種相談会を実施し、住みやすいまちづくりを目指していきます。

防災対策について

問 避難道路整備事業の今年度の計画はどうか。

答 都市建設部長 上横地・松ヶ谷線外防災ネットワーク道路整備事業は、用地が確保できた部分から、工事を発注します。特に、成東総合運動公園北側交差点部分の用地交渉を優先的に行います。蓮沼ホ・蓮沼イ線外防災ネットワーク道路整備事業は、起点側、主要地方道飯岡一宮線の交差点付近から、北側へ約200mにつき、完成形で仕上げる工事を発注する予定です。

問 災害ベッドに、エアーマットや段ボールベッドがあります。段ボールは、地面と段差ができるため、高齢者でも寝起きがしやすく活用的です。供給協定の締結はしてはどうか。

答 総務部長 福祉施設関係者、自主防災組織関係者の意見も聞き、導入を検討したいと思います。

問 授乳用液体ミルクは常温で保存できるため、災害時に有効活用できると思うがどうか。

答 総務部長 輸入品のため、国内での供給量が限られています。厚生労働省令が改正され、購入が可能となれば、導入したいと思います。

問 指揮をとる市長の見解はどうか。

答 市長 重要な行政の責務と捉え、更なる防災環境の充実を図り、災害に強い市の創造に全庁を挙げ、市民の生命、身体及び財産を守る使命を胸に、精進します。



公明党 本山英子 議員

農業について

問 市の基幹産業である農業施策を、市長は、どのように展開していくのか。

答 市長 地域農業の担い手の育成及び青年の営農意欲の喚起を促すこと、農地の集積・集約化を図り、農業の生産性向上、経営規模のさらなる拡大を図っていくことが重要と考えており、農業の発展につなげていきたいと思えます。

問 耕作放棄地活用の施策をどう考えるか。

答 経済環境部長 地域ぐるみの農地の保全管理や担い手への農地集積、再生利用可能な荒廃農地の農地中間管理機構への利用権設定を進めることで、耕作放棄地の発生防止と解消に努めていきます。

問 土地持ち非農家の方や高齢化等の諸事情により、田の耕作がで

くなり、貸したい、また、耕作を任せたいと思う方については、市として紹介等を行うことについてはどうか。

答 経済環境部長 高齢化等の諸事情により農地を貸したいという場合に、平成26年度から、国によって制度化された農地中間管理事業は、地域農業の担い手への農地集積・集約化を図るため、農地の中間的な受け皿となる農地中間管理機構が、農地所有者と農業経営者の間に立ち、農地の集団化、経営規模の拡大、新規参入を進めるものです。本事業の活用で、貸し付けを希望する農地、担い手の決まっていな

い農地の有効活用が図られ、農地の集約による効率的な農業経営が可能となるものと考えています。

問 相談窓口の設置についてはどうか。

答 経済環境部長 市農林水産課と、県山武農業事務所内(東金市)に設置しています。

山武市公共施設等総合管理計画について

問 推進体制の会議に、成功例の多い自治体職員の協力を求めているがどうか。

答 市長 合併市である本市のフ